

平成30年11月22日(木) 13055号



株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043
 大阪市北区天満2丁目12番3号
 ヴィレッジリバー南森町 3階E号
 TEL (06) 6353-7831 (代表)
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001
 東京都品川区北品川1丁目9番7号
 トップレーム品川1015
 TEL (03) 6869-9983 (代表)
 EMail info@nikkankinzoku.co.jp
 WebPage https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 72,000円(税別) データ12か月 84,000円(税別)
 6か月 36,000円(税別) 配信料 6か月 42,000円(税別)

10月銅電線出荷速報値

建設・電販がプラス転換

前年同月比2.6%増加

(一社)日本電線工業会が発表した2018年10月の銅電線出荷数量(速報値)は、前年同月比2.6%増の6万4,300トンだった。速報値では、2か月ぶりにプラスに転じた。

内需向けは6万3,100トンで前年同月比4.6%増加。輸出は1,200トンで、48.3%の大幅な減少、今年の月当たり数量ベースでは最少となった。

主要部門別では、建設・電販向けが6.6%増の3万1,600トン。建設・電販向けは、4月以降5か月プラスが続いたが、9月はマイナス、10月は再びプラス転換した。電気機械は0.1%増の1万3,300トンで、2か月ぶりのプラス。自動車向けは6.2%増の7,800トンで、今年の月単位の数量ベースでは最多を記録した。このほか、その他内需は9.4%増の4,900トン、やはり今年の月次別では最多となった。部門別では、電力が1.8%減少し、唯一マイナスだった。

アルミ電線は、前年同月比0.9%増の2,200トン。電力向けは0.5%減の1,500トン、輸出が前年同期比100倍の100トンで出荷を押し上げた。

心線販売は、前年同月比3.9%増の3万3,000トンで、2か月ぶりのプラスだった。

アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス
 各種非鉄金属屑

株式会社 原田商店

代表取締役 原田 靖章
 〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30
 TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128

18年10月の銅電線出荷数量(速報値)

	出荷数量(トン)	前年同月比(%)
通信	1,000	1.5
電力	4,500	▲1.8
電気機械	13,300	0.1
自動車	7,800	6.2
建設・電販	31,600	6.6
その他内需	4,900	9.4
内需計	63,100	4.6
輸出	1,200	▲48.3
合計	64,300	2.6
心線販売	33,000	3.9
▲はマイナス		
アルミ電線		
電力	1,500	▲0.5
その他内需	600	▲10.7
輸出	100	9900.0
合計	2,200	0.9
▲はマイナス		

減摩合金・各種ハンダ
 鉛滓・錫滓の精錬

中川金属精錬所

代表者 中川 譲 治

〒556-0022 大阪市浪速区桜川 1-6-22

TEL 06-6561-3759(代表)

10月ニッケル市況動向 中国景気後退懸念から下落基調

月末には年初来安値更新

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)がまとめた2018年10月のニッケル市況動向は、経済指標を受けた中国の景気後退懸念から、ロンドン金属取引所(LME)のニッケル相場は軟調な展開が続いた。

9月30日に発表された中国の9月製造業PMIが市場予想を下回る結果であったことが弱い材料となり、10月1日のニッケル相場は前日より値を下げて12,325.0トンでスタート。その後はLME在庫の減少等が材料視され上昇し、10日に月内で最高値の12,775.0トンをつけた。

中旬は、10日の米国株大幅安に続き11日には世界的に株安となり、世界経済の先行き不安からニッケル価格も下落。12日にアジア市場での株価回復を好感しニッケル価格も上昇するが、16日に発表された中国9月卸売物価指数(PPI)上昇率の低調な結果や米連邦公開市場委員会(FOMC)による年内の追加利上げの観測を受けたドル高傾向が弱い材料となり、下落基調となった。

19日には、中国当局が民間企業に対する支援方針等を表明し、中国におけるベースメタル需要増が期待されニッケル価格は上昇したものの、その後も中国の需要減退への懸念が拭えず再び下落傾向に。31

日には年初来最安値を更新し、11,625.0トンで月をまたいだ。

需給動向では、国際ニッケル研究会(INSG)の秋季予測では、2018年は14.6万トンの供給不足、2019年は3.3万トンの供給不足としている。

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで

Ogico OGIYAMA Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530

東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800

名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005

海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>

2019年3月期第2四半期連結決算

DOWAホールディングス

DOWAホールディングスの19年3月期中間期の連結決算は、売上高が前年同期比1.2%増加、各利益項目は減益だった。貴金属同事業は、錫等副産物の生産を強化。亜鉛事業は買鉱条件の悪化や電力上昇が収益を圧迫、増収減益だった。金属加工部門の伸銅品事業では、自動車向けが堅調に推移した一方、銅価格の下落が影響し、増収減益だった。

(単位: 億円)

売上高	2,218.28
	1.2
営業利益	93.67
	▲36.2
経常利益	128.48
	▲25.6
四半期純利益	88.89
	▲24.2

下段は前年同期比(%)

▲はマイナス

2019年3月期

通期業績予想を下方修正

三井金属鉱業

三井金属鉱業は、2019年3月期連結業績予想を下方修正した。売上高は当初予想より153億円引き下げ、各利益項目も見通しを引き下げた。キャリア付極薄銅箔の販売量の減少が見込まれるほか、金属価格が想定を下回って推移していることで在庫要因の悪化が主な原因としている。

(単位: 億円)

売上高予想	5,067
	▲153
営業利益予想	245
	▲195
経常利益予想	240
	▲170
四半期純利益予想	140
	▲120

下段▲は下方修正額(億円)



亜鉛建値3,000円引き下げ34万9,000円 11月の月内建値平均は34万4,600円

三井金属鉱業は21日、電気亜鉛建値を3,000円引き下げ34万9,000円と発表し、同日から実施した。2018年11月の月内建値平均は34万4,600円。

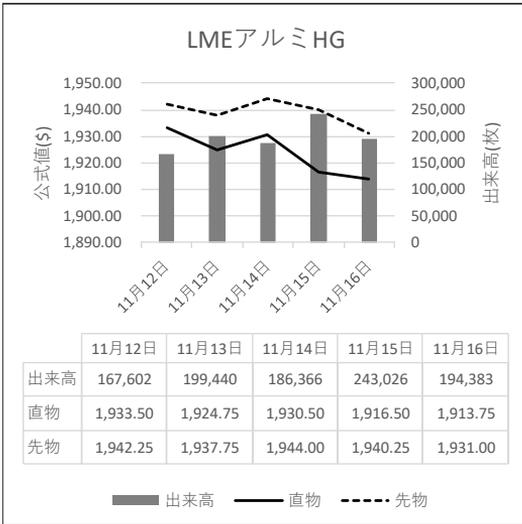
21日入電のLME亜鉛相場のセツルメントは2,698.00ドル、同日の東京外国為替市場の米ドルTTSレートは113.91円、この値で換算した採算価格は30万7,300円。建値と採算価格から見た諸掛りは4万1,700円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(単位キロ当たり円、カッコ内は改定日)。

2018年

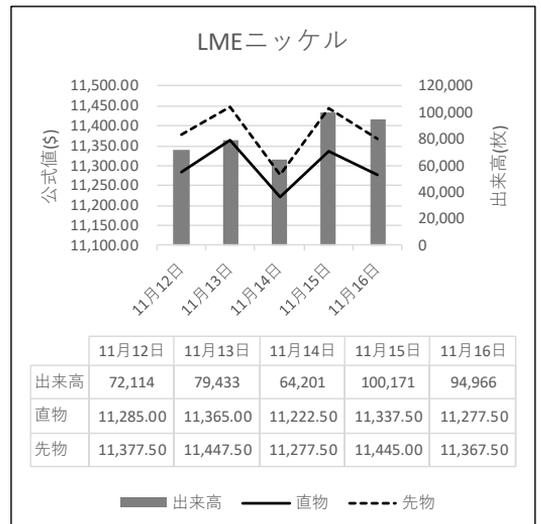
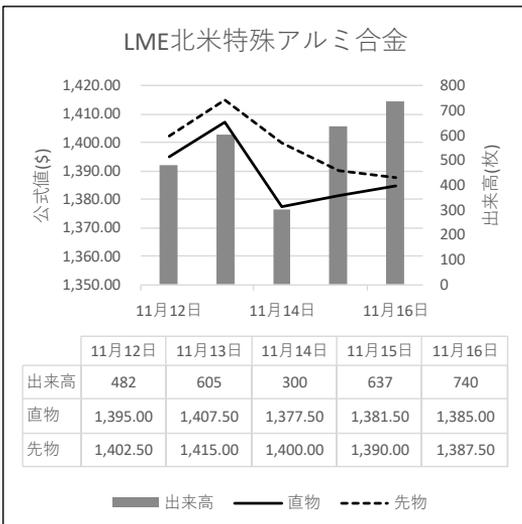
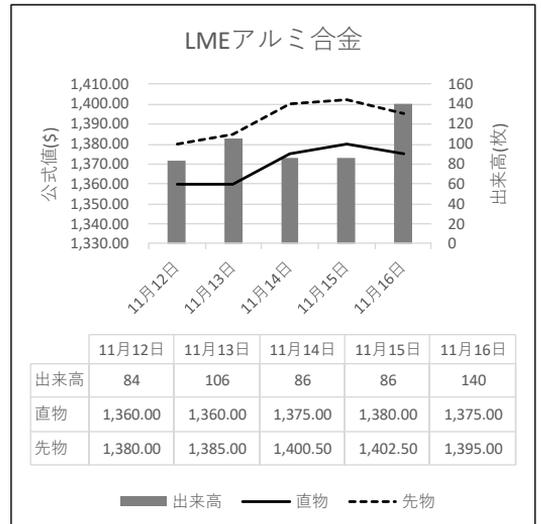
- 6月 385(1)403(6)406(13)391(19)355(26) 平均389.0
- 7月 370(2)352(5)340(11)328(17)340(20)343(25) 平均345.6
- 8月 349(1)340(7)298(16)307(21)334(27) 平均328.5
- 9月 325(3)316(10)298(18)343(25) 平均320.5
- 10月 352(1)358(4)346(12)355(23)352(26) 平均351.9
- 11月 337(1)343(9)352(16)349(21) 平均344.6

LME公式値週間推移 11月12日～11月16日 (現地)



日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>





銅建値1万円引き下げ74万円

11月の月内建値平均は74万1,000円

JX金属は21日、電気銅建値を1万円引き下げ74万円と発表し、同日から実施した。2018年11月の月内建値平均は74万1,000円。

21日入電のLME銅相場セツルメントは6,262.00ドル、同日の東京外国為替市場の米ドルTTSレートは113.91円。この値で換算した採算価格は71万3,300円。建値と採算価格から見た諸掛りは2万6,700円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2018年

□6月	780(1)810(5)840(7)810(19)790(22)780(27)	平均810.0
□7月	780(2)750(5)730(12)720(20)730(25)	平均740.4
□8月	750(1)730(3)720(8)710(15)690(20)700(23)720(28)	平均716.0
□9月	710(3)700(6)710(13)720(19)750(25)	平均717.7
□10月	750(1)770(4)750(9)740(16)730(19)740(24)	平均744.7
□11月	720(1)760(5)740(8)730(13)750(16)740(21)	平均741.0

黄銅削粉7円引き
下げ546円

関西の黄銅棒大手N社と三菱伸銅は21日、黄銅削粉の買値を7円引き下げ546円とすると発表した。月内6回目の改定。

故銅市況

21日入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場の直物前場売値が、前日の6,260.00ドルより2.00ドル高の6,264.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,291.00ドルより44.00ドル安の6,247.00ドル。カーブ取引は前日の6,259.00ドル～6,259.50ドルより76.00ドル～75.50ドル安の6,183.00ドル～6,184.00ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場(11月限)は前日の280.45セントより3.80セント安の276.65セント。SHFE(上海先物取引所)の銅相場(12月限)は、前日の4万9,630元より80元高の4万9,710元。

21日の東京為替市場TTSレートは、前日の113.67円より0.24円の円安ドル高の1ドル=113.91円。NYカーブLME先物比は49.50ドル安。21日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,262.00ドル。

この値と21日の東京外国為替市場USドルTTSレート

から計算した国内採算値は、前日の75万1,000円より2,000円高の75万3,000円。この日、電気銅建値は74万円に引き下げられた。

為替動向

20日から21日午前の外国為替市場で、円相場は下落、1ドル=112円台後半での値動きとなった。

21日の東京外国為替市場、午前9時時点の気配値は、1ドル=112.69円～112.72円、前日の17時時点に比べ0.18円の円安・ドル高。

20日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は1ドル=112.70円～112.80円、前日の同時刻比0.20円の円安・ドル高だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.21円の円安・ドル高、1ドル=112.70円～112.80円で取引を終えた。

原油を始めとした商品先物相場が大幅に下落、資源国通貨に対してドルが買われた。また、英国の欧州連合(EU)からの離脱問題の不透明感からユーロが対ドルで下落した。ドルが他国・地域通貨に対して上昇する流れが円にも波及。持ち高調整とみられる円売り・ドル買いも入った。ただ、円売りの勢いは強まらず、下値は底堅く推移した。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、112.30円～112.84円だった。

21日の東京市場、朝方は海外市場の流れを受けて円売り・ドル買いが先行した。実需のドル買いも入っており、ドルの支援材料になっているとの指摘もあった。

故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が627～616、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは592～597、並銅は531～536、込銅(高品位=約97%)は491、セバは540～545。コーペルは要り用筋で471、それ以外は463ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋426、それ以外409～434どころの値頃。並青銅鋳物削粉は461～466どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が594～599、上銅新しくが581～601、普通上銅が548～558、2号銅線が554～564、並銅が519～520、込銅(90-93%)が478～445、下銅が283～333、セバが507～517、コーペルが463～503、黄銅棒地が459～464、黄銅削粉が367～414、黄銅ラジが404～412、交叉ラジが335～346、黄銅銅鋳物が370～377、送りが184～199、上青銅鋳物が471～487、並青銅鋳物が463～476、上青銅鋳物削粉が468～487、並青銅鋳物削粉が461～465どころ。

銅・非鉄金属地金全般

株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265



LME銅はまちまち 在庫減少続くも米中貿易交渉の不透明感が重し
カーブ取引は反落 COMEX銅相場も反落 SHFE銅相場は小幅続伸
LME非鉄相場はまちまち 鉛は5営業日ぶり反落 錫は続伸
亜鉛のLME在庫は10月5日より続減、およそ40%縮小

21日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,259.50ドルより1.50ドル高の6,261.00ドル。3か月物も、前日の6,242.50ドルより3.00ドル安の6,239.50ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の15万2,000トンより約6,000トン減のおよそ14万5,000トン（丸め込み）。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（11月限）は、前日の280.45セントより3.80セント安の276.65セント。カーブ取引は、前日の6,259.00ドル～6,259.50ドルより76.00ドル～75.50ドル安の6,183.00ドル～6,184.00ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（12月限）は、前日の4万9,630元より80元高の4万9,710元。

錫は続伸

LME錫相場の直物は、前日の1万9,455.00ドルより142.50ドル高の1万9,597.50ドル。3か月物も、前日の1万9,517.50ドルより65.00ドル高の1万9,582.50ドル。

鉛は反落

LME鉛相場の直物は、前日の2,004.50ドルより35.50ドル安の1,969.00ドル。3か月物も、前日の2,016.00ドルより20.50ドル安の1,995.50ドル。

亜鉛はまちまち

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,690.50ドルより6.50ドル高の2,697.00ドル。3か月物は、前日の2,612.00ドルより21.25ドル安の2,590.75ドル。

アルミ・アルミ合金・北米特殊アルミ合金はいずれもまちまち

LMEアルミ相場の直物は、前日の1,917.75ドルより8.75ドル高の1,926.50ドル。3か月物は、前日の1,940.75ドルより0.50ドル安の1,940.25ドル。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,355.00ドルより10.00ドル安の1,345.00ドル。3か月物は、前日の1,400.00ドルより5.00ドル高の1,405.00ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、横ばいの1,405.00ドル。3か月物は、前日の1,410.00ドルより7.50ドル安の1,402.50ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ107万1,000トンより約2,000トン増のおよそ107万3,000トン。

ニッケルもまちまち

LMEニッケル相場の直物は、前日の11,195.00ドルより10.00ドル安の11,185.00ドル。3か月物は、前日の11,235.00ドルより20.00ドル高の11,255.00ドル。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(11月後半)

2S=189円～197円、63S=186円～189円、アルミホイール(1P)=183円～188円、ビス付サッシ=137円～141円、エンジンコロ=143円～145円、込合金(機械鋳物)=139円～141円、缶プレス(ソフト)=106円～120円。

関西地区(11月後半)

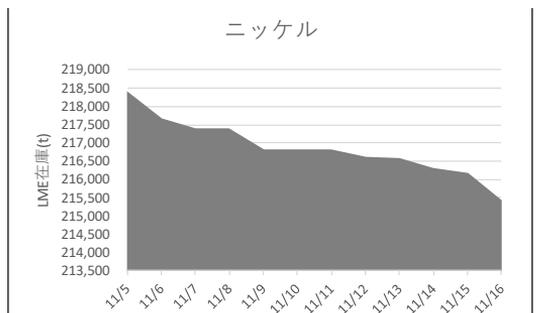
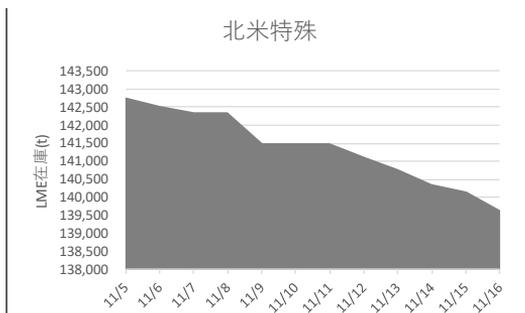
2S=184円～192円、63S=182円～186円、52S=194円～198円、印刷版=189円～194円、アルミホイール(1P)=172円～177円、ベースメタル=196円～201円、機械鋳物=143円～148円、ダライ粉=115円～118円、ビス付サッシ=138円～143円、缶プレス=121円～126円。

LME公式値（単位：ドル）／11月20日（現地）

	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル	
直物	公式値	6,261.00	19,597.50	1,969.00	2,697.00	1,926.50	1,345.00	1,405.00	11,185.00
	前営業日比	1.50	142.50	▲ 35.50	6.50	8.75	▲ 10.00	0.00	▲ 10.00
先物	公式値	6,239.50	19,582.50	1,995.50	2,590.75	1,940.25	1,405.00	1,402.50	11,255.00
	前営業日比	▲ 3.00	65.00	▲ 20.50	▲ 21.25	▲ 0.50	5.00	▲ 7.50	20.00



LME認定倉庫在庫量推移 11月5日～11月16日（現地）



海外非鉄金属相場

(11月21日 入電・現地 11月20日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with 4 columns: 前買, 場売, 後買, 場売

銅 A G
現物 6260.0 6262.0 6247.0 6249.0
前日比 2.0 ▲ 44.0
先物 6239.0 6240.0 6222.0 6224.0
出来高 205,744

錫 H G
現物 19595.0 19600.0 19430.0 19480.0
前日比 140.0 ▲ 120.0
先物 19580.0 19585.0 19400.0 19450.0
出来高 6,142

鉛
現物 1968.0 1970.0 1970.0 1975.0
前日比 ▲ 35.0 ▲ 18.0
先物 1995.0 1996.0 1990.0 1995.0
出来高 57,010

亜鉛 S H G
現物 2696.0 2698.0 2643.0 2645.0
前日比 7.0 ▲ 41.5
先物 2590.5 2591.0 2546.0 2548.0
出来高 148,822

アルミ H G
現物 1926.0 1927.0 1931.5 1933.5
前日比 9.0 19.0
先物 1940.0 1940.5 1944.0 1946.0
出来高 192,783

アルミ合金
現物 1340.0 1350.0 1389.5 1399.5
前日比 ▲ 10.0 20.0
先物 1400.0 1410.0 1410.0 1420.0
出来高 135

北米特殊アルミ合金
現物 1400.0 1410.0 1410.0 1420.0
前日比 0.0 5.0
出来高 818

ニッケル
現物 11180.0 11190.0 11030.0 11055.0
前日比 ▲ 10.0 ▲ 120.0
先物 11250.0 11260.0 11100.0 11125.0
出来高 93,069

NY コメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント
銅HG 金 銀 プラチナ パラジウム
11月限 276.65 1219.0 1424.7 844.9 1142.70
12月限 276.65 1221.2 1426.9 845.7 1126.10
1月限 277.15 1224.4 1431.1 847.0 1123.90
2月限 277.55 1227.0 - - -
3月限 277.65 - 1438.9 - 1121.90
前日比 ▲ 3.80 ▲ 4.1 ▲ 13.4 ▲ 10.6 ▲ 15.20
出来高 159,408 279,694 130,730 - 9,766

採算価格
フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)
為替相場 LME (円ベース/キロ) COMEX 上海
銅 錫 鉛 亜鉛 アルミ ニッケル 銅 銅 アルミ 亜鉛 鉛
T T S 6262 19600 1970 2698 1927 11190 277 49710 13755 21765 18540
113.91 6301 2433 261 347 230 1475 739 823 228 360 307
+0.24 + 5551 + 21 - 4 + 1 + 1 - 8 - 1 + 0 - 3 + 0

フリー・マーケット

米国生産者価格

銅(セント/ポンド)

銀(セント/オンス)HH社 1436.4

NY相場

取引業者銅(セント/ポンド) 256.4 ~ 257.4

2号銅線くず(セント/ポンド) 353.35 ~ 357.35

ロンドン相場(ドル)

金(オンス) 1223.0

アンチモン99.6%(トン) 8300 - 8400

ピスマス99.99%(ポンド) 4.10 - 4.50

カドミウム99.99%(ポンド) 1.20 - 1.30

インジウム99.97%(キロ) 195 - 245

セレンウム99.5%(ポンド) 14.00 - 15.00

スポンジチタン99.5%(キロ) 6.00 - 7.00

フェロモリブデン欧州産(キロ) 29.00 - 29.20

コバルトカソード99.8%(ポンド) 33.00 - 34.00

マグネシウム中国産99.9%(トン) 2600 - 2675

タングステンAPT(MTU単位) 280 - 290

タンタル鉱石30-35%(ポンド) 85 - 90

K L T M 錫 (Mドル/キロ、出来高トン)

Table with 3 columns: (20日), (21日), 相場
相場 81.48 81.55
出来高 25 27
ドル建て価格 19450 19420
O D レート 3.7600 3.7600
M \$ / U S \$ レート 4.1890 4.1992
採算円/キロ 2471 2476
U S \$ 採算円/キロ 2217 2217

L M E 在庫(トン)

Table with 3 columns: 在庫, 増減
銅 145,250 ▲ 6,375
錫 3,055 0
鉛 109,950 ▲ 225
亜鉛 122,625 ▲ 1,000
アルミ 1,073,050 2,125
アルミ合金 12,660 0
北米特殊 A L 合金 139,000 ▲ 320
ニッケル 215,562 234

コメックス銅在庫(トン)

143,061 ▲ 1,363

上海在庫(トン)

銅 134,744 ▲ 7,490
アルミ 765,353 ▲ 15,455
亜鉛 39,675 2,297
鉛 8,845 ▲ 589

NYカーブ

銅 6172.00 ~ 6173.00 ▲ 82.00

アルミ 1941.00 ~ 1942.00 10.50

上海相場

Table with 4 columns: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛
12月限 49710 13755 21765 18540
1月限 49800 13770 21465 18270
前日比 80 ▲ 15 ▲ 85 ▲ 20
出来高 72130 51902 69828 20658

Table with 4 columns: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛
銅 49710 13755 21765 18540
アルミ 823 228 360 307
亜鉛 21765 18540
鉛 18540

非鉄金属製品相場

(11月21日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京
銅小板2.0ミリ	◆970	◆1000	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	◆980	◆1010	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	◆1140	◆1200	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	◆1180	◆1190	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	◆840	◆880	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	◆940	◆1000	軽圧品(仲値)		
銅条1.5×100	◆950	◆1000	アルミ箔0.007ミリ	945	935
銅線0.9ミリ	◆1030	◆1060	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	◆950	◆1000	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	◆1230	◆1240	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	◆815	◆830	〃 5083板	665	565
〃 0.3ミリ	◆840	◆850	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	◆995	◆1040	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	◆1390	1350	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	◆1340	◆1360	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	660	◆680	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	690	◆710	貴金属(一般小口向け)		
四角棒	720	◆740	白金(グラム)	◆3397	
鍛造用	700	◆720	パラジウム(グラム)	◆4579	
ネーパル	800	◆820	金(グラム)	◆4825	
高力	800	◆820	銀(キログラム)	◆58960	
黄銅線6ミリ	◆1065	◆1115	レアメタル輸入価格		
黄銅平角線ロール仕上	◆1255	◆1320	9月通関 (CIF)		
黄銅条1.5×100	◆810	◆860	金属ケイ素(99.99%未満)	236	
リン青銅板一般用1.0ミリ	1860	1840	モリブデン酸化物	2218	
〃 バネ用0.3ミリ	2080	2050	タンタル	52046	
リン青銅棒25ミリ	2130	2140	マグネシウム	283	
リン青銅線3ミリ	2280	2260	コバルト	9670	
洋白板一般用1.0ミリ	2690	2670	インジウム	30619	
〃 バネ用1.0ミリ	2880	2860	合金鉄		
減摩合金			銅合金地金		
11月16日改定			11月16日発表		
(500kg以上、大口価格)			(標準価格)		
1種	2705		BC 1種	800	—
2種	2635		2種	980	—
3種	2560		3種	1025	—
4種	2260		6種	855	—
5種	2180		7種	895	—
7種	885		YBSC 3種	705	—
8種	795		LBC 3種	990	—
9種	710		PBC 2種	1045	—

合金鉄	9月輸入単価 (CIF)
フェロマンガン2%以上炭素含有	135
〃 その他	271.5
フェロシリコン55%以上	170
フェロクロム4%以上炭素含有	153.9
フェロモリブデン純分60%以上	2028
フェロバナジウム	6649
フェロニッケル33%未満	427.4
電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

